

社会福祉法人東京聖労院 職員倫理綱領

平成22年4月1日策定

私たち東京聖労院の職員（以下、「私たち」）は、東京聖労院の基本理念に基づき、東京聖労院の福祉サービスを必要とする皆様（以下、「皆様」）の人間としての尊厳を尊重し、専門的な福祉サービスを提供するとともに地域福祉を推進する大きな責務（以下、「責務」）を有しています。

私たちは、皆様が、地域社会の一員として自立した生活を営むことができるように支援し、責務の遂行をめざします。

そのために、私たちは、社会的常識と教養を培い社会的な信頼を維持することはもとより、常にチームワークの下で専門的力量を発揮することを自らの使命として、不断の努力を行う必要があります。

こうしたことから、ここに東京聖労院職員倫理綱領を定め、私たちが責務を遂行するにあたっての倫理を明示し、最良の実践のための規範とします。

1 人間としての尊厳の保持

私たちは、かけがえのない人間の生命を尊重し、皆様の人間としての尊厳を保持することを判断と行動の基本とします。

2 人権の尊重

私たちは、皆様の自由と平等を尊重し、基本的人権を擁護することを判断と行動の基本とします。

3 一人ひとりの自立の支援

私たちは、皆様が心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活が送れるように支援します。

4 自己決定の尊重

私たちは、皆様の知る権利を保障し、必要に応じて代弁者として行動し、皆様の判断や選択が最良のものとなるように支援します。

5 社会参加と地域福祉の推進

私たちは、皆様が地域社会の一員として生活を送り、社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が得られるよう、地域の方々と相互に協力、連携し、地域福祉の推進に取り組みます。

6 たゆまぬ自己研鑽

私たちは、皆様により良い支援ができるように、社会人としての常識と教養を培うことを怠らず、常にチームワークと自らの専門的力量の維持と向上に責任をもち、たゆまぬ自己研鑽に励みます。

7 個人情報保護

私たちは、個人情報皆様が一人ひとりの財産であり、その財産を預かっていることを自覚し、保護、保全に万全を尽くします。

社会福祉法人東京聖労院職員倫理綱領ガイドライン

私たちが重点的に擁護する権利を明確にし、実践と行動のガイドラインを示します。

1 いかなる虐待からも守られる権利

皆様は、身体的虐待、介護放棄、育児放棄、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待等、全ての虐待から守られる権利を持っています。

<ガイドライン>

- いかなる理由においても、虐待はしません。
- 虐待の早期発見に努め、関係機関と連携して対応します。
- 虐待防止の正しい知識習得のため継続的に学びます。

2 平等にサービスを受ける権利

皆様は、何人からも差別・選別されることなく平等にサービスを受ける権利を持っています。

<ガイドライン>

- 出自、性別、年齢、人種、宗教、文化的背景、社会的地位などの違いにかかわらず、自由を尊重し平等にサービスを提供します。

3 サービスの説明を受ける権利

皆様は、サービスの内容について十分な説明を受ける権利を持っています。

<ガイドライン>

- 提供するサービスについて、適切な方法、分かり易い表現を用いて、事前に説明します。
- 提供されるサービスについて、質問、相談があった際には、誠実に対応します。

4 サービスの方針や内容・環境について自己選択・自己決定できる権利

皆様は、サービスの方針やその内容について意見を表明することができ、自分で選択し決定する権利を持っています。

<ガイドライン>

- サービスを実施するにあたっては、皆様の意思を反映させます。
- 自己選択、自己決定が出来るよう支援します。
- 意思表示が困難な場合、権利擁護関連の制度を活用、紹介するなど自己決定できるよう支援します。

5 社会に参加する権利

皆様は、地域社会の一員として、自らの意思に基づき、心豊かな暮らしを送る権利を持っています。

<ガイドライン>

- 社会を構成する一員として生活できるよう地域社会と連携を深め、橋渡しを行います。

6 より良い支援を受ける権利

皆様は、より良い支援を受ける権利を持っています。

<ガイドライン>

- 専門知識、あらゆる社会資源を活用し、皆様の生活がより良いものとなるよう支援します。
- 職場内における教育や、研修への参加、自己学習を通して常に援助方法の改善を行い、専門性の向上に努めます。

7 個人情報保護と開示要求に関する権利

皆様は、自分自身に関する情報を保護される権利と知る権利を持っています。

<ガイドライン>

- 個人情報の保護、保全に万全を尽くします。
- 情報の開示要求があった場合には、他の方の権利侵害がない等支障のない範囲で速やかに応じます。